

第Ⅱ部
周南市子ども・子育て支援の
基本的考え方

1 基本理念

基本理念

まちぐるみで応援 子どもが笑顔で幸せになるまち しゅうなん

「家族の多様性」という言葉が用いられるようになって久しいです。しかし、家族がどのような生活の形をもっていたとしても、育ちの主役は子ども自身であり、その育ちを支える主役は保護者です。これからの子育てに求められてきていることは、子どもが安心して育つ環境をいかに作り上げていくかということであり、言い換えれば、子どもの笑顔をどれだけ増やしていけるかであり、それが、子どもを育てる上での大切なポイントになってきます。

一方で、現代社会においては、核家族化、少子化、地域における人間関係の希薄化、子どもを取り巻く環境の複雑化等により、子育て家庭の孤立化や負担の増加が懸念されており、ストレスがたまっていても、それを解消する場や打ち明ける場があまりにも少ないのが現状です。

だからこそ、子育ては家族という枠の中だけではなく、まちぐるみで行うことが求められるようになってきているのです。まちぐるみで子育てをするときには、その担い手としていくつかの役割を考えてみるすることができます。

最初に、家庭の役割です。何といたっても、子育ての基本は家庭にあります。二つめに、地域の役割です。地域の役割としては、子どもが普段いる居場所を作ったり、子育て世帯に声をかけをしたりするように、関心を持っていくことができるでしょう。三つめに、事業所の役割があります。男性ももっと子育てに取り組みやすい環境を作ることは、事業所が率先してできる役割です。最後に、行政の役割があります。子育て中の住民に対して行政サービスを行うことはもちろんですが、地域や事業所を応援することも役割となります。このように、家庭、地域、事業所、行政がそれぞれの立場から、できることに取り組んでいきます。

周南市は、「まちぐるみ」で子育てをし、子どもたちが笑顔で過ごせるまちを目指します。

2 基本目標

基本理念を実現するため、今後5年間で取り組む6つの基本目標を定めます。

基本目標1 子ども・子育て支援の充実

- 教育・保育事業、地域子ども・子育て支援事業の「量の確保」と「質の向上」
- 教育・保育の推進体制の確保と施設等利用給付の円滑な実施
- 放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的な推進

基本目標2 安心して子どもを産み、健やかに育てることのできる環境の充実

- 妊娠・出産・子育てに寄り添う切れ目のない支援の充実
- 親と子の健康づくりの推進
- 発達支援体制の充実

基本目標3 子どもの生き抜く力を育む教育の充実

- 変化が激しい社会を力強く「生き抜く力」を育む教育の充実
- 子どもたちが自ら判断し、主体的に行動できる人材として成長できる環境づくり

基本目標4 特別な配慮を必要とする子どもや家庭への支援の充実

- 児童虐待防止対策の充実
- ひとり親家庭の総合的な自立支援の推進
- 障害を抱える子どもが地域の中で安心して生活を送るための環境づくりの推進
- 全ての子どもが夢と希望を持って成長できる社会の実現

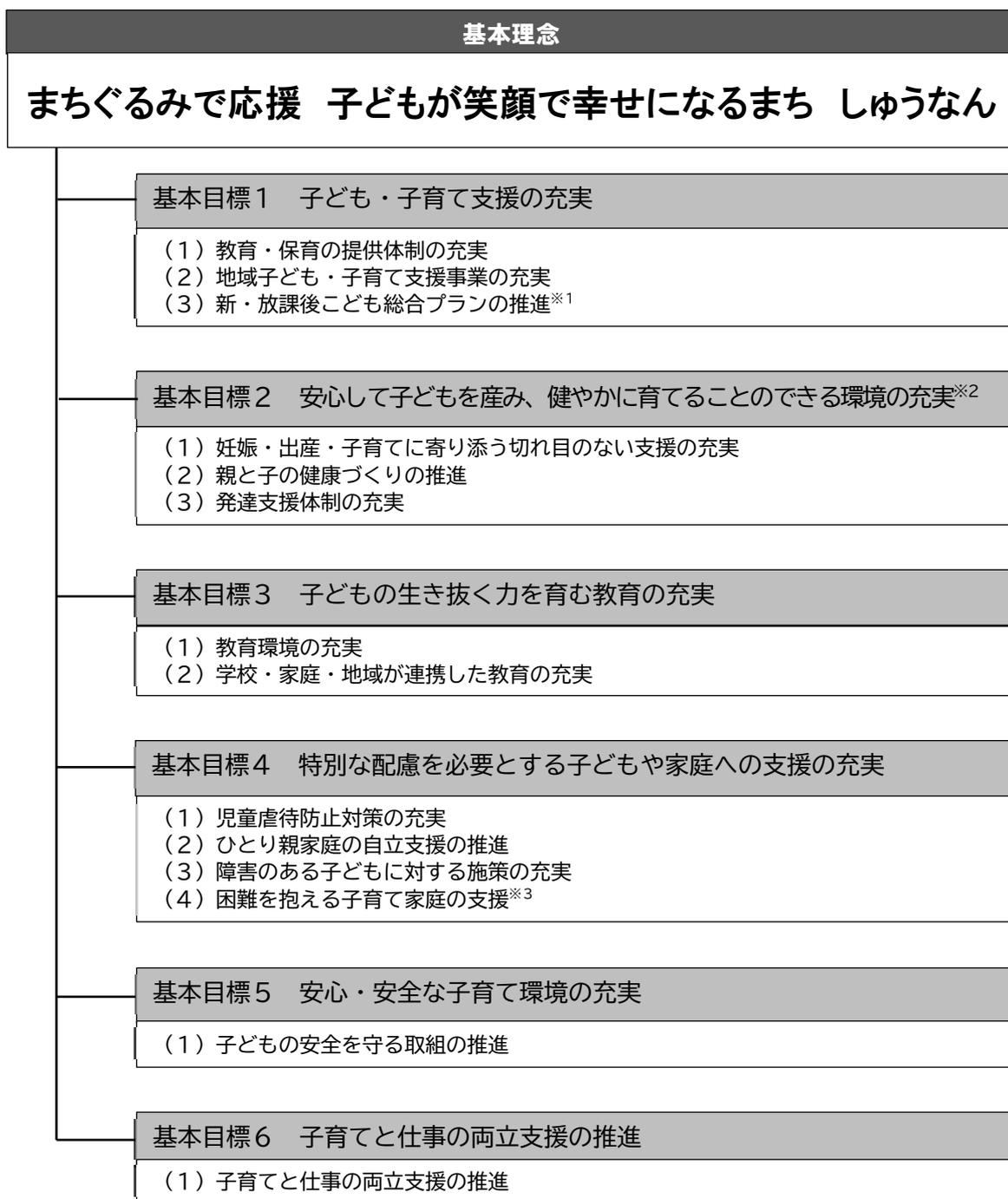
基本目標5 安心・安全な子育て環境の充実

- 子どもの安全を守る取組の推進

基本目標6 子育てと仕事の両立支援の推進

- 男女ともに子育てをしながら働きやすい環境づくり

3 計画体系



※1：「新・放課後子ども総合プラン周南市行動計画」に位置づけ
※3：「周南市子どもの貧困対策推進計画」に位置づけ

※2：「周南市母子保健計画」に位置づけ

各基本目標の実施にあたっては、次の視点を持って取り組みます。

◆「児童の権利に関する条約」の視点

◆「SDGs（持続可能な開発目標）」の視点